

令和4年度 学校自己評価システムシート（埼玉県立越谷南高等学校）

目指す学校像	「文武両道」をとおして「知・徳・体」の調和を実現し、目標を高く持って社会に貢献する人材を育てる学校
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 PISA タイムや ICT 活用による授業改善・教材開発を推進し、生徒が実感できる確かな学力の向上を確立する。 2 自主性を育むメリハリある生徒指導やきめ細やかな進路指導を充実させ、学校行事や部活動など「文武両道」に基づく豊かな人間性を育成する。 3 外国語科の特性を生かし、異文化理解を深め、語学力を向上させ、主体的にコミュニケーションを図ることができる生徒を育成する。 4 教育活動を積極的に地域・保護者に発信し、開かれた学校づくりを更に推進する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価								
年 度 目 標				年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	
1	<p>【現状】PISA 型読解力が身に付いていない生徒が多い。「PISA タイム」を実施しながら出てきた課題に対し、迅速に対応する必要がある。また、1・2年生の授業以外での学習時間1日2時間以内の生徒の割合は、両学年約88%である。</p> <p>【課題】○「PISA タイム」での新たな課題への対応と教材研究・開発を行う。 ○生徒の可処分時間増加に伴う授業以外の学習時間を増加させる。</p>	<p>「PISA タイム」の円滑な実施と新たな課題解決に向けて迅速に対応する。</p> <p>1年生及び2年生の授業以外の学習時間を昨年度より増加させる。</p>	<p>①運営方法等について、各考査前に委員会で検証する。 ②実施した教材を学期末に委員会で分析する。 ③教材に関する情報を提供する。</p> <p>①各教科授業等で生徒にスタディサプリ活用の声掛けをする。 ②学期ごとにスタディサプリの視聴時間を把握する。 ③越南 Diary 等でスケジュール管理をさせる。</p>	<p>①運営上の課題解決の件数 ②分析した教材の内容 ③提供した情報数</p> <p>①②スタディサプリ視聴時間 ③越南 Diary 等の活用率</p>				
2	<p>【現状】多くの生徒は基本的な生活習慣が身に付いている。大学進学者が84.8%以上で進路未決定者は5%未満である。部活動、学校行事、生徒会活動にも意欲的で多くの部が高い実績を収めている。</p> <p>【課題】○部活動統一休養日の完全実施で学校生活習慣を見直す。 ○コロナ禍での学校行事や部活動の実施方法等を工夫して実施する。</p>	<p>部活動休養日の実施で学校生活習慣を見直し充実した学校生活を送る。</p> <p>新型コロナウイルス感染防止対策と創意工夫で学校行事と部活動を実施する。</p>	<p>①担任、部顧問等から部活動休養日の有効利用について指導する。 ②学年集会や全校集会の講話の中で可処分時間の活用についての内容を含める。</p> <p>①感染状況を見通した学校行事の実施方法を検討する。 ②新たな県教委の通知を、職員室内に掲示するとともに、職員会議等で詳しく説明する。</p>	<p>①学校評価アンケートの高校生活に関する満足度 ②部活動休養日の達成状況 部活動顧問間の情報共有</p> <p>①学校行事の実施時期と内容の工夫 ②教職員への周知数</p>				
3	<p>【現状】コロナ禍の影響で海外研修と留学受入れができず、代替の体験活動を行っている。外国語科の影響で普通科生徒にも異文化理解が徐々に浸透している。</p> <p>【課題】○外国語科生徒の学校満足度を維持して更に語学力を向上させる。 ○英語劇やディベートの指導方法を工夫・改善する。</p>	<p>海外研修の代替研修や国際理解活動で異文化理解や語学力向上に取り組む。</p>	<p>①オンライン英会話等の ICT を活用した研修や国内代替施設で体験型研修を実施する。 ②これまでの英語劇やスピーチコンテストの指導内容を整理し、今年度の指導方法を工夫する。</p>	<p>①外国語科生徒の学校評価アンケート学校生活満足度 ②県英語劇大会や県スピーチコンテストの大会参加結果</p>				
4	<p>【現状】学校説明会1回開催で約1,100名参加し、部活動見学は実施方法を工夫した。ICT 活用の知見を豊富に蓄積し他校や異校種へ還元している。</p> <p>【課題】○コロナ禍での学校説明会や部活動見学の実施方法を工夫・改善する。 ○Chromebook の共同購入と ICT 推進の相談校の役割を担う。</p>	<p>学校説明会と部活動見学会の実施方法の工夫・改善と ICT 活用事例の発信で、生徒募集につなげる。</p>	<p>①学校説明会と部活動見学会をコロナ禍でも柔軟に対応できるものに工夫改善する。 ②ホームページの部活動の活動と進路状況を随時更新する。 ③昨年度共同購入代表校としてのノウハウを他校に伝え、他校代表校をサポートする。</p>	<p>①学校説明会、部活動見学会等の合計参加者数 ②ホームページ内の情報更新数とホームページの閲覧者数 ③円滑な共同購入の実施</p>				

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	

